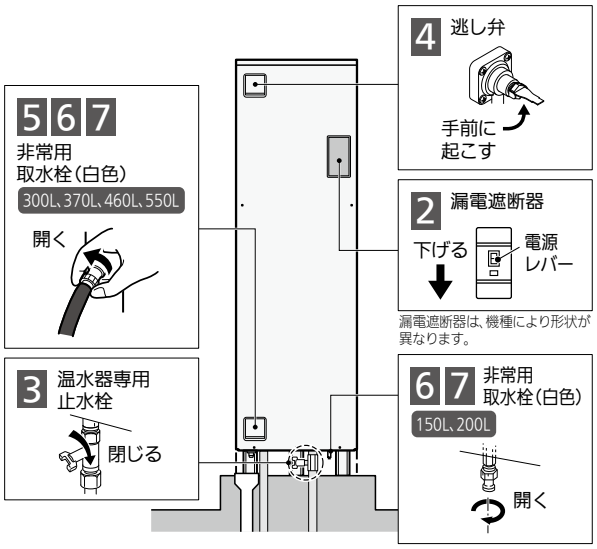
②電気温水器 給湯専用タイプ　角形タイプ

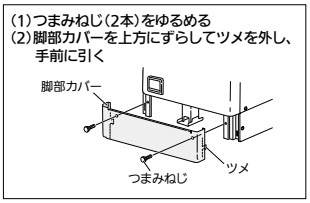
非常時の取水方法

タンクの水（お湯）を生活用水として利用できます。
非常用取水ホースは、温水器の内部（前面カバーに沿って）に収納されています。（300L、370L、460L、550L機種のみ）

⚠警告　●給湯（取水）・排水時は、熱湯が出ることがあるのでお湯に触らない（やけどの原因）



脚部カバー（別売）の外しかた



1 温水器に脚部カバーが付いている場合は、脚部カバーを外す
※脚部カバーが無い場合は、2 へ進む

2 電源レバーを下げ、「切」にする
●電気の供給を停止します。

3 温水器専用止水栓を閉じる
●タンクへの給水を止めます。
※温水器専用止水栓の取付位置が不明な場合は、据付工事店へご連絡ください。

4 逃し弁のレバーを手前に起こす
●タンクへ空気を取り入れます。

5 300L、370L、460L、550L
非常用取水ホースを排水栓操作窓から出す

6 非常用取水栓（白色）を開く
（1回転～1回転半まわす）
●タンクの水（お湯）を取り出します。バケツなどで受けます。
●他のホースが抜けないようにしてください。（300L以上の機種のみ）

〈取水が終わったら〉

7 非常用取水栓を閉じ、1 で外した脚部カバーを取り付ける

お願い
●再び使用するときは、非常用取水栓が閉じていることを確認し、逃し弁のレバーを起こしてから、タンクに水を入れてください。

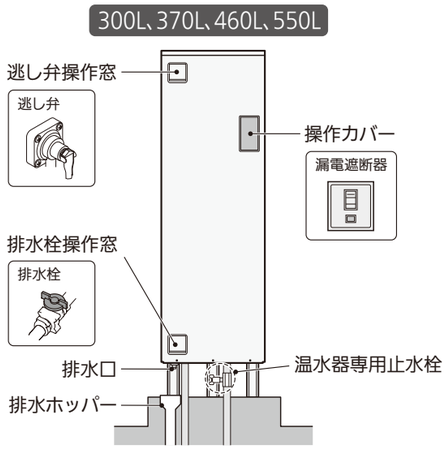
※非常時の取水方法は、温水器本体のラベルでも確認できます。

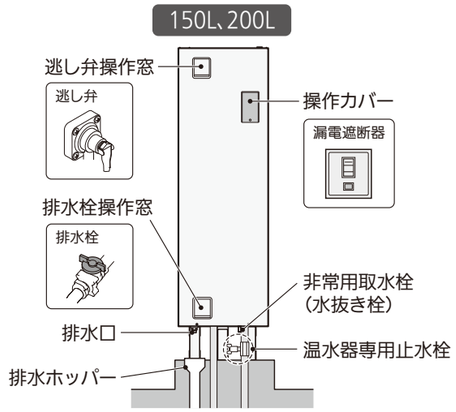
②電気温水器 給湯専用タイプ　角形タイプ

使いはじめ

タンクの水抜きを行なった場合、次の手順で温水器の使用を再開します。
また、タンクの水抜きをせずに1か月以上お湯を使用しなかった場合は、
温水器の水抜きをしてから次の手順を実施ください。
必ず、手順通りに行なってください。わき上げできない場合があります。

※温水器を初めてご使用になる場合など、方法がわからないときは、据付工事店（販売店）へご相談ください。
当社修理窓口にご依頼いただくことも可能です。（有料）





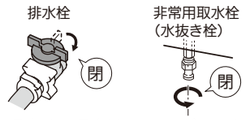
お願い ●温水器専用止水栓が図の位置に取り付けられていない場合は、据付工事店へ取付位置を確認してください。

1.以下のことを確認する

（1）漏電遮断器が「切」になっていることを確認し、「入」になっている場合は、電源レバーを下げ、「切」にする

●機種により形状が異なります。

（2）温水器の排水栓、非常用取水栓（150L、200L機種のみ）が閉じていることを確認する



※操作する場合は、ホースが抜けないようにしてください。

（3）すべての蛇口（湯水混合栓）が閉じていることを確認する

お願い ●脚部カバーがついている場合は、脚部カバーの前面カバーを外してから行なってください。

2.タンクを満水にする

（1）逃し弁のレバーを手前に起こす

（2）温水器専用止水栓を開き、タンクへ給水する

（3）満水になったら、逃し弁のレバーを戻す

●タンクが満水になると排水口から水がでます。（満水までの目安:30分）
●排水口がよく見えない場合は、流水音で確認してください。

（4）給湯配管の空気を抜くため、蛇口（湯水混合栓）のお湯側を開く（1か所）

●空気が抜け、蛇口から水が出たら蛇口を閉じてください。

お願い
●タンクを満水にしてから電源を入れてください。高圧力型（SRT-376HUD、SRT-466HUD、SRT-556HUD）は、タンクが満水になっていないとリモコンに「F07」エラーが表示され、わき上げを行いません。
●温水器専用止水栓は閉じないでください。

3.電源を入れる

（1）200V電源ブレーカーを「入」にする

（2）漏電遮断器の電源レバーを上げ、「入」にする

●機種により形状が異なります。

お知らせ
●ご契約の料金プランの夜間時間帯にわき上げを開始します。
※給水水温が高い場合、夜間時間帯になってもすぐにわき上げを開始しないことがあります。夜間時間帯が終了する時刻に合わせてわき上げます。

4.わき上げ温度を設定する

■リモコンをご使用のお客様　リモコン

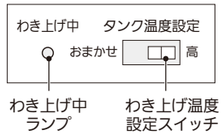
リモコンで以下の設定、確認を行なってください。
①時刻を合わせる
②電力契約モードを確認する ※時間帯別電灯でご契約のお客様のみ
③電力制度を確認する
④タンクのわき上げ温度を設定する
⑤すぐにお湯が必要な場合は、満タンスイッチを押す ※時間帯別電灯でご契約のお客様のみ

■リモコンをご使用でないお客様

●SRGタイプをご使用のお客様

温水器の操作部のわき上げ温度設定スイッチをスライドさせ、設定します。
使い始めは「高」に設定することをおすすめします。

操作カバー内 操作部

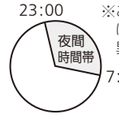


設定	わき上げ温度の目安	わき上げ動作内容
高	約85℃	●最高のわき上げ温度でわき上げを行います。来客などでお湯をたくさん使用することが予測されるときは、前日に設定しておくことをおすすめします。
おまかせ	〈冬期〉　約80～85℃ 〈春～秋〉 約75～85℃	●季節や過去の使用湯量を学習し、わき上げ温度を適切に設定してわき上げを行います。

注.わき上げ温度は最高85℃ですが、放熱によって、タンク内の温度はわき上げ温度から下がります。

5.夜間時間帯にお湯をわき上げます。

わき上げ中は、リモコンに「わき上げ中」が表示されます。
または、操作部の「わき上げ中ランプ」が点灯します。



※ご契約の電力契約によって時間帯は異なります。

お知らせ
●リモコンをご使用の場合、タンクが満水でもリモコンに「残湯なし」が表示されます。45℃以上のお湯が増えると残湯量表示の目盛も増え、「残湯なし」が消えます。

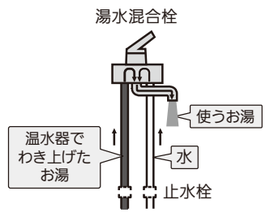
6.お湯を使う

お湯は翌朝から使用できます。やけど防止のため、湯水混合栓の温度調節つまみを「低」（水側）にしてから給湯を開始し、適温に調調整してお湯を使用します。必ず、指先などで湯温を確認してから使用してください。朝の使いはじめは、空気の混ざった熱湯が飛び散る場合があります。

⚠警告
●給湯時は、湯水混合栓に手を触れない（やけどの原因）
●給湯（取水）・排水時は、熱湯が出ることがあるのでお湯に触らない（やけどの原因）

給湯する（湯水混合栓）

●温水器でわき上げたお湯を、湯水混合栓で水と混ぜて使います。実際に蛇口やシャワーで使うお湯の温度は、温水器でわき上げたお湯の温度よりもぬるく（低く）なることがあります。
●お湯がぬるい場合は、湯水混合栓の温度調節つまみを設定したり、止水栓を調整して温度を調節してください。

止水栓の調整方法は、お使いの湯水混合栓の取扱説明書をご確認ください。

お願い ●湯水混合栓の交換時は、据付工事店へご相談ください。